



三
十
角
清
取

伊地知文庫
文庫20
224
?



名不付合



一 正原とあり、八 抄あり、此 徳次門

里 冥燒 神代とあり、風 小松

草 部子橋 市柴 時魚 尾

急の白書 小松の山此時多 行幸

神祭 刈名 三 習 物

一 深草山とあり、八 女良氣 然り、里

鶴 神の秋 凡 竹の山 去 又

常 墨 渡 橋 時多 子 祭 風

竹 了 里 妻の谷 衣 山 吉

懐 芽 生 昔 彼 夕 暮 略 の 羽 子

一 本 懐 山 と あり、八 并 森 川

与 文 傳 漸 成 せ たり、一 里 花

青目

正

吾ら川 かり人 夕暮

一字 山とあり 八川 里 河橋

橋 水上 紫系 木葉 下りく

花 且れ 心 あり 魚 布き 次

埋 本 卯 苑 卯 紫 居 初 息

吾 月 津 の あり 木 橋 の 橋 人

為 橋 津 志 波 乙 苑 鶴 乙 舟

時 多 吾 ら 川 紫 冬 契 引 水 矣

衣 の こ じ ゝ ゝ 推 り ぬ く 守 高 秋 燕

一 松 見 山 と あり 八 入 江 里 鶴 居

草 移 女 夜 の 居 麻 冬 松 丸

衣 打 書 衣 衣 吾 人 次 子 紫

衣 の 急 居 吾 子 高 時 多 田 菟

清 芽 系 鴨 新 松 深 草 の 里

本 橋 山 那 へ 杜 あり

一 水 池 之 あり 八 歎 冬 苔 緑 吉 柳

山 本 高 麻 冬 の 居 あり 埋 木

冬 け 孝 秋 の 夜 の 月 川 杉 水

あり 魚 流

一 小 塩 山 と あり 八 松 凡 白 山 麻

神 系 小 松 系 行 幸 吾 紫

山 凡 井 あり 水 高 月 丸

さ くら 時 多

一 流 系 あり 八 鯉 入 江 あり 草

ま 是 柳 車 釣 時 多 少

水 少 くら あり 魚 居 文 世 次

川見より少づけ 晴るま
六田より飯をこつむ えてす
袋の強ひ縄 あり葉

一美豆那とあり八里 舟妹 弱
曇り夕月 ありあ 上野 森
は牧 まうも 時鳥 去の 小鳥
善の川波 ありあ 池川 夕言
あふふふ

一老盤山とあり八 森松 忌屋
急つじ 雲 麻 苑とあり 時鳥
お祭とあり 松風 里 権 紫 辻 言
桔 柜 浅 ころり 時鳥 ころり あり
穴 里 人 宿う 門 白玉 権 徳

此處 下ら 書

少念山とあり八 苑とあり 時鳥
お祭 明る 竹あり 松 号 北 杉
時鳥 舞あり ころり あり あり
あ 苑 雲 あり 吾 衣 折 月 あり
あり あり あり あり 苑 あり あり あり
水 大井河 苑 山

一六井川とあり八 せき あり あり
入江の松 遊の白糸 雲 橋 あり
空 苑 苑の 苑 山 あり あり
あり 橋 行 幸 春 あり あり
あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり

鴨 かり大秋の月 杉橋 橋川
瓦山 清澄川

一 瓦山より人 苑橋 藤葉の寺
秋の香 玉明 石条 麻の鳴
寺 杉橋 川 舟 時 毎 鐘

一 暖後とあり 人 神人 神垣 川
御被 あり あり あり 姫小松
舟 社 車 あり あり あり あり あり
菖 あり あり あり あり あり あり あり
約 あり あり あり あり あり あり あり

一 杉村 行 雲 あり あり
一 鳥 あり あり あり あり あり あり あり
ふ 代 の あり あり あり あり あり あり あり

ま あり あり あり あり あり あり あり
雲 あり あり あり あり あり あり あり
橋 あり あり あり あり あり あり あり

一 お あり あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり あり あり

風 あり あり あり あり あり あり あり
校 あり あり あり あり あり あり あり
乞 針 水 あり あり あり あり あり あり あり

粟 月 あり あり あり あり あり あり あり
多 あり あり あり あり あり あり あり あり
一 あり あり あり あり あり あり あり あり
鳥 部 あり あり あり あり あり あり あり あり

片山 白雲川 漱の石
 子鳥 小糸 山の井 御坂
 子目 麻 湯のいさり 丹后
 淵の浮磯 伴の中鶴 袴 丹波
 一乃 神とあふ 小糸 物 寺
 の山 山 行幸 片 唐 池
 小糸 久し 戸 月 家 葦
 鳥 善 丹 日 吾 苑 鹿 野 小
 女 丹 苑 麻 子 代 の 石 藤 系
 石 丹 月 の 弱 井 の 忌 時 敏 菊 系
 一 丹 子 の 玉 水 と あ ふ 八 蟻 歎 冬
 帯 里 人 久 れ ぬ 苗 代 夏 草
 浮 草 弱 芽 へ 志 々 々 回 道

玉藻より 中りぬ

一善 白 地 と あ ふ 八 蟻 歎 冬
 橋 跡 名 紫 菫 苑 久 々 八
 下 葛 栗 神 母 久 々 子 目 此 杉
 埋 水 草 夕 立 瓦 苑 羽 尻
 萩 萩 の 燒 系 庶 山 聖 梅
 乃 善 岩 木 の 杉 部 子 善 善
 小 糸 冬 の 埋 木 柳 葉 行 幸
 三 大 氏 丹 溪 茅 小 糸 石 步
 時 敏 善 葉 葉 の 菊
 三 橋 と あ ふ 八 橋 系 枚 神 臣
 市 人 枚 久 々 八 御 坂 所 白
 山 田 苑 善 敏 あり 爲 山 系

諸目

下五

蛙 音 之 苗 佐 神 の せ ころ
川 時 ぬ 紅 糸 毫 苔 木 本
あ の よ り ぬ

一 葛 池 中 の 入 吉 柳 苑

葛 村 志 橋 白 雲 神 時 ぬ

喜 ぬ お 糸 三 郎 山 立 回 山

栗 小 白 ぬ 志 郎 山 立 回 山

谷 川 の 水 巻 石 の 寺 三 郎 川

月 かり ぬ

一 高 ち ち ち 入 苑 時 ぬ 写 魂

赤 糸 文 秋 の 月 お 糸 呂

栗 橋 の 下 橋 夕 立 入 日

一 高 ち ち ち 入 川 柳 葉 橋 川

涉 橋 鳥 部 翠 今 喜 院

吾 行 幸 時 ぬ 唐 紫 糸 の 戸

山 井 の 入 せ を い と ぶ 乃 芝

冬 の 雁 木 春 の 歎 冬 雁 木 也

鳥 け の 乃 寸 竹 凡 新 井 書

鳥 相 菱 文 入 今 人 志 皮

唐 大 川 の 色 い と 七 の 山 少

さ せ 布 之 れ 家 子 せん 梅

秋 の 糸 あ ん け さ 三 郎 心

吉 柳 中 の 志 郎 の 橋 糸 山 志

吾 の 下 葉 丸 の 白 雲 三 郎 心

田 舎 の 鳥 よ り 志 郎 志 皮 心

佛 被 蛙 大 く 志 郎 心 村 ぬ

丸上ありぬ浮世のしるし
麻のえきありてすのち
神垣より都白泡里の知れ
六田の庭天待し女忍衆

下野田のありて夕附日神川
柳陰暮時鳥卯花丁
椿蔭のありてぬ時鳥ねの鳥
御被麻のせき衣きり
あつと弱くして橋わた
玉藻吾の白ゆいぬの鳥
ありぬ風村ぬ丸上つし
二三心しありて神垣と鳥
柳紅葉ありて鳥忍衆橋

吾の下水つりて麻丸花
あつとぬ鳥ぬ丸上つし
時鳥衣鳥若の鳥鳥
ありぬ時鳥若白柳
一物殿のありて鳥橋柳
若川山時鳥鳥白川
あつとぬ鳥ぬ丸上つし
丸上つりて鳥鳥鳥鳥
あつとぬ鳥ぬ丸上つし
あつとぬ鳥ぬ丸上つし
あつとぬ鳥ぬ丸上つし
あつとぬ鳥ぬ丸上つし
あつとぬ鳥ぬ丸上つし
あつとぬ鳥ぬ丸上つし

つばき ねま 葉 鏡 深の鏡
色り 鶴 茅 月 深 色 白
千 浮 強 の 砂

一 文 波 と あ る 木 の 下 露 月

一 木 秋 時 ぬ 麻 の た く ね 鳥

一 志 を 約 身 を 考 り ことり

一 こ の ひ の 月 花 の ち 持 白 雲

一 み り ぬ 鶴 鳴 木 の 下 凡 鳥 色

一 け ち 約 と あ る ぬ け ち 時 鳥

一 ち ち の ち 鳥 又 三 葉 紫

一 初 鳥 時 鳥 虎 木 の 下 雀 橋

一 さ や 雀 色 ね ち ち 法 の 月

一 ち ち の 伴 身 ち ち ち ち ち ち

秋 蔭 の 里

一 木 蔭 村 と あ る 木 蔭 鳥 籠

一 ち ち 鳥 鳴 ち ち 蔭 麻 屋 上 の ぬ

一 ち ち 花 凡 花 夕 立 じ ゅ の 鳥

一 ち ち 身 蔭 人 の 身 時 鳥

一 ち ち の 下 葉 ち ち 葉 橋 の 下 舟

一 一 交 柳 と あ る 柳 人 蔭 葉 流

一 柳 子 橋 ち ち ち ち ち ち ち ち

一 ち ち う ち ち 橋 葉 葉 蔭 の 鳥

一 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

一 ち ち の 明 り の 蔭 の 鳥 橋 葉 柳

一 ち ち ち ち ち ち

一 鏡 山 と あ る 木 蔭 の 鳥

鏡山とある木蔭の鳥

黄茶種 老たる身 心も

辰の香 玉露 花 呼ぶ

秋葉 山 小 香 多 由 明

多の明

一帯 由 地 之 あり 小 藤 時 香

秋村 中 乃 清 水 旱 乃 苑

馬 岳 山 長 結 田 菜 乃 穂 沢

清 津 濃 神 垣 市 橋 苑

栗 時 香 黄 茶 松 且 乃 丸

な 乃 しの 息 玉 露 乃 苗

小 号 藤 乃 乃 草 乃 乃 乃 乃 乃

一 溪 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

那 彼 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

麻の香 時 香 乃 乃 乃 乃 乃

白の 思 乃 乃 乃 乃 乃

黄 代 乃 乃 乃 乃 乃

一 小 種 之 あり 小 神 香 麻 乃 香

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

鶴 草 大 原 山 松 乃 乃 乃 乃

梅 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

田 乃 乃 山 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃

乃 乃

一高野とあり六 寛の京 橋

高野の下水 菅原 時高

相馬 菅原 高野川 高野

高野の野 杉凡 平次 河 星

あゝゝゝ つかさ 子 子 子

高野 相馬 凡 時高 子 子

一高野とあり六 高野 凡 高野 高野

高野の凡 むゝゝ 杉子 高野

高野 高野 月 高野 高野 高野

高野の藤原 高野 高野 高野

高野 高野 高野 高野 高野

高野 高野 高野 高野 高野

一高野とあり六 高野 高野 高野

時高 高野 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野 高野

月 高野 高野 高野 高野

高野 高野 高野

一高野とあり六 高野 高野 高野

高野 高野 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野 高野

高野 高野 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

一斤 高野とあり六 高野 高野 高野

高野 高野 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

高野の 高野 高野 高野

清見 下三
よのれ橋別原 ときをばに無の

小菰

一玉川とあり八洞布 存形 菰
井の北里 白菊 汝の 子鳥
る所の奥 ありぬ 小宮 麻
卯苑 松凡 亮あり 時鳥 里
弟立りしり 恒ね

一夫者又山とあり八夕立 ありぬ
存形と 十市北里 時鳥 許松
菰むと 中のころ木 意者の 一鳥
神と云 風 時鳥 橋原 神代鳥
一依保川とあり八 善柳 松原
子鳥 左門 鴨 夫津 鳥 秋鳥

山行は 咲ふ 葉 夕の 奈 龍 雲
る苑 而 奈の 綿 家 凡 時鳥
三三三 舞 とめりり 三三川

一昔の 差とあり八 花 雲 生 橋
那波 海 雲 塩 籠 海 穴 ありぬ
灘 香りり 子 鳥 ありぬ 子鳥
伴の 物 鳥 存 形 と 意

一橋に あり八 蜂 鳴 あり 鴨 あり
まゝ 刈 三 尺 汝 あり 濃 赤 あり
棚 寄 小 舟 草 の う ち あり 三 三 あり
鳥 丘 あり あり あり 月 を 衣 け け

一三時とあり八 川 舟 草 あり あり
白 麦 淡 香 あり あり あり あり

湯の湯 芥大 芥大 芥大

鶉鳴 まるも 芥大 芥大

水の六浦 風吹 三鶴 之れ 地

浅草 寺

一六ひえとわくハ 三木川 板村

陸の香 寺 横川 鏡山 目吉

芳村 橋 丸 社 のゆり 一六ひえ

宇治川 法 の町 聖 白雲

一水 差 忌 とわくハ 三木川 芥大

菘 菘 浅草 芥大 相 深 男 橋

ゆき 芥大 海 徳 の 住 聖 芥大

み 中 芥大 の ひ り ぬ あり 芥大

芥大 林 の 初 凡 藤 の 一 芥大

一六ひえとわくハ 鶉鳴 丸 芥大

法 凡 芥大 芥大 白 芥大 芥大 芥大

胡 豆 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

乱 芥大 の ひ け 法 芥大 の 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 の 人 芥大

一六ひえとわくハ 鶉鳴 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 の 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 の 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

芥大 芥大 芥大 芥大 芥大 芥大

風 庶 松の葉をくわとて 祈 苑

愚のつゝ 原 さまの衣

一 又 外川とわくハ 衣 所 本 為 の 室

鴨 旅 ぬ 言 花 の 花 衣 子 匠

川 山 どの 枯 凡 山

一 松 鶴 と 雨 へ 入 り 鳴 け け け

あまの 人 ぶ 原 さま 月 中 切 欠

後 び び 一 祈 禱 の 儀 花 屋 磯

夕 露 夕 露 存 打 海 の 心 糸

一 白 川 と わ へ 為 り 音 ぶ 紫 風

松 苑 あり 本 時 毎 月 夕 露

寄 三 丘 乃 心 海 津 海 の 糸

海 り 山 室 祈 幸 後 芽 香 出

弟 弟 の 爲 友 子 弟 卯 苑 の 祈 苑

部 一 葉 乃 乞 鳥 の 山 枯 凡 吹

一 掃 山 と わ へ 白 雲 の 八 字 降

菊 の 乃 葉 喜 露 部 人 苑

秋 の 夕 露 喜 局 苑 弟 弟 の 爲

一 大 心 山 と わ へ 夕 立 雨 乃 世

目 映 の 祈 喜 乃 乃 甘 野 喜 乃

庶 の 喜 為 友 弟 天 の 乃 立

落 乃 乃 乃 乃 田 の 面

一 五 湖 の 海 と 乃 へ 汝 凡 子 弟

入 海 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

夕 露 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

松 の 村 立 津 漕 亦 弟 乃 乃 乃

一和方の浦にあつた 田島 松原
釣舟あつたあま 茅海ひ
浪子も 夕月夜も 毛の尻 毛
津津屋あつたあま 茅系
入白まね 家の月 毛をう
次也 玉ひろふ 神 申か大
一陸橋にあつたあま 吹井の浦
志平凡 松 黄葉 秋茅 花
わけのそふ 舟 梅 明名 月 傾
破よ 毛津 案の上 毛 津屋 白 飯
松浦にあつたあま 舟人 舟う 舟
瓦 瓦 蜂 時 夕 月 涼しき
蜂のおち 津のまのわけあ

川 初見の神

玉島の雲つゞきよ 立橋
一陸橋にあつたあま 半架の波 川
月の影 秋葉 林葉 時 ぬれ ぬ
お祭 毛をう 舟の戸 毛 下 毛
みり ぬ 茅の刈が 花の法
ろく 毛 いせ 舟の浦
一鴨海にあつたあま 汐のらら 毛
浪あり びら すす 虫 舟 津
浪 秋 夕 燈 月 あま 舟 毛 浦
毛 舟 川 せ 貝 紅 葉 舟 人 の 毛
一伏ね 舟 山 毛 あつたあま 舟 毛 う 毛
尻 藤 の 毛 松 の 葉 月 舟

思ね 藤ね 木の下家 時多
時多 林蔭の里 家の様々
藤ね 藤ね 藤ね 藤ね
一屋だとのあゝ 種の新古月
芽 子鳥 芽 ひまの約室
忘却波 木の葉 破山はこひ
りりく苑 三條の松原 多の書
入目

一菰波とあゝ 嘆のつ子 粟木
松山 白雲 時多 秋 冬の水
下露 ちけさるけさ 秋田守
黄葉 三の川 三山志げ山
月山鳥の丸 家の橋 時多

松ね下毎 白雲 三の川 秋の松の石
一松多那とのあゝ 小藤 ありあ
夕立 雲 時多 鴨 藤 子鳥
家の松 凡 宅 小庭の池 漆
芝山 藤 庭 夕 かの藤 藤 藤
お月ね 三の山
一師 藤 那とのあゝ 約 藤 藤
藤 笑 時多 木の葉 藤
三つら川 三の山 藤 藤
浦よりをふくく 藤 藤 藤
松 藤 藤 藤 藤
三の藤 藤 藤 藤 藤
三の藤 藤 藤 藤 藤

藤 藤

東は春 暮ら又のこりて
冬は月 木葉 空は花
清の春 木葉の影 空の空
行幸

一 神橋の浦とあり六 花はうら
まわくと 村の影 さゆり花
萩の花 清風 藤よ紅虫
お色川 清風 木葉 夕波
ふり 夕風

一 田舎の橋とあり六 那波 鶉
新秋 暮 花あり 夕風やこ
田舎 菊は枝 夕風海
夕風 清風 海

一 神の浦とあり六 清 舟うらな
清風 月 葉 清風 花
夕風 夕風 夕風 夕風 夕風
入江の夕風

一 夕の橋とあり六 夕風 時雨
永日 秋風 夕風 夕風 夕風
月 葉 よこの浦 清風 夕風
清風 清風 清風 清風 清風
夕風 夕風 夕風 夕風

一 花多川とあり六 夕風 秋葉
夕風 夕風 夕風 夕風 夕風
夕風 夕風 夕風 夕風 夕風
夕風 夕風 夕風 夕風 夕風
夕風 夕風 夕風 夕風 夕風

中々の早の秋萩時多 木立
 多馬橋 里も新打柳のうら
 ち此おの屯 浮木 若き若
 秋の月 喜ぬ 夢のうらさ橋
 一長柄橋とありハ 五葉 若月
 志久代 魚の夕ぐれ 浪よあま
 月より多 菊立後 任吾れ初
 一松久橋とありハ 志久 喜の飛
 妙宝 びれわら田鶴あそぶ
 清見の柴

一黒俵の裏とありハ 喜 初時
 神有徳山 秋凡時多 今下水
 麻鳴杜の下草 風なりは忌

一十市の里とありハ あり火 白
 三井寺又山 世山 橋庄戸 居
 新打新 喜が家村池橋と
 苑橋

一赤火とありハ 世の産 喜自地
 喜草 草 蕨と之か 神京 新子
 喜れ あり喜 喜の村は
 一羽の系とありハ 喜 喜は
 ありと 喜 喜は 喜 居
 喜立 白菊の苑 麻 喜れ
 喜茶 新子 行是

一益田池とありハ ありあ 喜
 喜と 水く ありあ 喜

一 鷲の尾とありて 山姥とありて
一 夜衣ありぬ 水上月甘田河
一 此川 西木

一 藤田の社とありて 時鳥 昔の祭
一 善 泉川 芥子 月ヶ付
一 空野の洞 時鳥 呼子鳥 白鳥
ひらき

一 高師とありて 寺の松 あり
一 梨 寺の松 凡ありて ありて 彼
寺の凡 霜なく

一 幸徳とありて 一本此松 二人
一 交被 寺の松 ありて 寺の凡

わの言ね 清く 舟 羽をありて

此に ありて 遠あり 神の祀あり

月夜 神の行幸 日吉祭

一 修徳とありて 寺の松 ありて

よこの海 麻鶴 ありて 嶽

一 龍山 凡ありて 寺の松 ありて

一 寺の松 ありて 寺の松 ありて

一因後山とあり六 花の松吹雪
秋の田舎 白雲 時鳥 ぶら葉
舞 五

一後山とあり六 松陰 夜の色
月を巻く林蔭 雲 きのなみく
花を納 老身 月 時鳥 谷水
半坂 一坂 杖はく 新卒 椎葉
一本 若梅とあり六 枳 凡本 檜
小藤原 重月 の 約 三光の 麻呂
白雲 ときりり 花の 白雲 谷凡
花を 乃ろ さらし 肌 山 衣 号
一後防の 函とあり六 神の ときりり
本曾の 麻呂 月 あり 水の 檜

一佐野の 舟檜とあり六 舟の 約
あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり

一室上川とあり六 室の 舟檜
橋 舟 時鳥 あり あり あり あり
一蒸乳とあり六 湯 蒸 あり あり
あり あり あり あり あり あり

梅咲丸 あり此ふ 旨

あり此海あり 後の事

を寄る 川世貝 志貝 大橋

る 此海 若田橋 後子寄

橋元 白波

一 支古とあり 蘇り 子寄此

網代時寄 浦人 苗代 入江

りや大松元橋

一 水の心とあり ます川 入江

多別の薬 あり 鴨 喜此 畷

浦橋 月影

一 付舟とあり 印丸 曲居丸

時寄 布之 次 垣根 少寄

東の海り 天北橋立 夏川の系

旅衣 藤枕 唐の石まゝ

一 筋戸とあり 里川 浦 夏

海の泊舟 羽身 時寄 水と

喜寄 あり 香川 白波 海

から海 氏の市 夏の林久

一 吉徳の中山とあり 志金あり

夏の新 喜村 帯 あり

細谷川 杉の色

一 吹と海とあり 子寄 津津月

白波 喜寄 白雲 秋凡 白菊

喜寄 汐の心と 喜 喜 喜

小井 津若系 喜代の白坂

一 和智の山とあり、八海の系も是
あり、その下も梅の花らうの世
一 志賀の浦とあり、八海一海島の物
いさし大波焼燗たさひく

まをる月うけのさう

一 三見の浦とあり、八月の夜は海苔

ふもつ 貝とけし まれよれ月

日けりおの村まいせ海津津人

一 田子津浦とあり、不尽の言ね

足柄山は見え海島のりや大言

ありぬ ちやう

一 浮橋とあり、八雲の根 足柄山

さよふ言 夕白けり 月明の月

是れ時ぬ 三それ言 雲 霧

およふ 丸はな波

一 隅田川とあり、八ヶ岳 まつら山

物言 月夜 枯風 川原 ちや

水の泡 洞 常る

一 象野とあり、八海 谷屋 沢若

たけ 藤ね ちのち

一 楊梅山とあり、三の流社 島村

神 三の玉垣 時多 ちやう此秋

三の灯 秋の暮 窓 月明の月

ゆふを思ふ 海の水

一 泉とあり、三北東 水のこころ

川丸 せ山 少少つけ 玉原

山吹 枝の杜 月夜 暮の夜 舟
白波 暮時多 暮をこ 久遠の都
多き

一休山とあり 八 秋 茅 夕月夜
時多 秋時多 夕月夜 夕月夜
夕月夜 夕月夜 夕月夜

一休山とあり 八 暮 夕月夜 夕月夜
夕月夜 夕月夜 夕月夜

書

書

一 山崎のあつた 神のまつり
ぬき ぶきあつた ちかまつり
白木 月ヶ 言 死 死を打
さう 死 去凡

一 玉津嶋のあつた 神 又 此 嶋
嶋守 入 白 船 之 和 舟 の 浦
谷 打 取 且 此 喜 原 又 在 言
身 中 心 以 所 て 舟 之 事 あり
一 神 振 山 の あつた し 葉 嶋 離
久 之 世 又 代 之 事 之 振 之
白 之 又 之 事 秋 の 白 舟 池 津 津
一 高 津 の あつた 又 白 舟 橋 之 元
月 の 言 子 祝 吾 此 羽 羽 芦

松凡 郡 岐

一 高津のあつた 舟 之 事 時 毎
松凡 高津 月ヶ 志 松 凡 船 之
藤 取 志 取 之 松 言 舟 作 之 松
一 津 言 之 あつた 浦 又 神 津
志 之 松 凡 神 代 志 又 代 又 之
志 打 志 之 事 舟 作 之 松 月
吾 天 津 神 秋 之 事 信 松
一 高津のあつた 舟 之 事 神
志 郡 舟 人 船 の 数 之 事 舟 之
紫 舟 之 事 舟 之 事 舟
一 高津のあつた 山 舟 之 事 舟
山 之 舟 舟 之 事 舟 之 事

死盛 まさのね む栗らる

月の傾 めきとたむあつじま

ひきの山 山の下木 毒あつじま

一名五川とあつじまらつじま

せの海木 まきのあつじま

あまぎく 花は沈む 樹は沈む

秋よりの 月の砂 雲あつじま

波の音 きのあつじま

一葉集とあつじま 白漆 津入

痛鳴 あつじま 漆凡 雲の物

はらあつじまのあつじま

あまぎく 草のあつじま

あまぎく の風 吹らつじま

一鳴門とあつじま 浦 伴らつじま

浦あつじま 浮き 浪あつじま

伴はあつじまのあつじま

一武庫の浦とあつじま 和田たつじま

あまぎく 竹のあつじま

あまぎく 夕樹日 漕舟のあつじま

あまぎく 藤丸 秋のあつじま

一虫明とあつじま 波 凡あつじま

あまぎく 月 影あつじま

あまぎく 友 呼あつじま

一浦とあつじま 海 山あつじま

あまぎく のうけとあつじま

あまぎく の下とあつじま

春の山凡そ青く 林の月影
一滋養の森とあり 松山重岩
春の松山 春の雲の 橋は
光の打き 春の 時を袖言
白雲の森 秋の夜を 時を
軍人の春 紅葉松
一山室山とあり 小野 谷川の水
跡は 流る 春を橋下柴
一比礼振山とあり 松浦川 春の
秋を松浦川とあり 春を
野の春

一湯田とあり 春の橋 春の夜
春の 湖の 春の 春の物

春の 春の 春の 白妙の春

一石清水とあり 春の 春の 春の松

春の 春の 春の 春の

春の 春の 春の 春の

春の 春の 春の 春の

一春の 春の 春の 春の

春の 春の 春の 春の

春の 春の

一春の 春の 春の 春の

春の 春の 春の 春の

一春の 春の 春の 春の

春の 春の 春の 春の

春の 春の 春の 春の

音 鐘ゆめいさ

一 雲の巾袖とありハ 高萩のり

里吉のちびく 秋風 名刺の月

香野 佐の松の松の冬と討書

花為 雲のれ

一 雲の巾とありハ 雲の巾 古萩

月日とありハ 雲の巾

一 紀の杜とありハ 雲 朱井玉垣

子鳥 雲のり

一 雲の巾とありハ 雲の巾 雲の巾

一 雲の巾とありハ 雲の巾 雲の巾

月のり

一 雲の巾とありハ 雲の巾 雲の巾

山を 松の村之 草花 少
 物人の 約々 麻 海の 伴は 夜
 大和 鴨 ね 神楽の 末と 煙 白雲
 一 三條の 浦と あり 女を する 物
 松原 伴は 事 月 けり
 妻の 唄 入 月 うら
 一 伴 勢の 海と あり 三 津 為 亮
 志 貝 物 亦 玉 是 州 約 々 雲
 うら ぬ 州 浪 新 あり 色
 月 流 子 恒 爲 蛭 蛇 の 貝
 あり 火
 一 浪 名 と あり 橋 た あり 中 津
 約 入 汝 兼 夕 夜 白 雲 雲

高を 見 たり 妻の 旅人 一 村 守り 松
 月

一 五 月 山 と あり 白 雲 橋 野 宮
 松の 紫 丸 の つ あり 八百 五 代 雲
 一 寺 神 祇 と あり 川 落 津 津 津
 祇 せ せ 多 夜 雲 少 を くら
 秋の 夜 月 大 田 川 上 の 祇 次
 一 中 原 の 橋 と あり 津 平 花 鳥
 雲 三 丸 凡 あり 妻 の 浪 雲
 戸 見 たり 舟 添 月 高 帆 枕
 一 束 の 松 山 と あり 白 浪 鶴 あり
 障 の ひ き 苑 あり 鳩 鳥 卯 丸
 高 浦 近 津 くら 雲 花 の 地 雲

横を 苑の波 菖并 夏の月
一 極川とあり 鮎之に 鱒魚

白雲 六井の雲 ぶ菜 うらひ

朔夕 穿 星の月 丸の山乃 藤

卯苑 橘苑 花雲 廿の白玉

一 大淀の浦とあり 杖の村立 湯

乃らめり 湯屋 互落 物舟

舟不 曉 江 被 子鳥 正うあ

一 菖并とあり 玉藤 沖の中 橋

つ 不 草 之 舟 守 山 住 多 の 海

一 豆柄山とあり 小藤 墨のたけ

ぶ 菜 穿 路 吾 鳥 比 音 竹 の 下

雲の陰 居 時 多 云 穿 鳥 神

月子 気 紗 々 苑 の 音

一 三 豆 山 元 川 と あり 三 豆 川 の 系

時 鳥 由 あり 水 音 神 舟 神

月 菖 并 菖 少 々 玉 柄 舟 菖

廿の白波 子 木 の 心 云 菖 菖

百 枝 の 枝

一 舟 小 川 と あり 川 舟 月 舟 菖

雲 あり 舟 舟 湯 舟 煙 舟

洞の 菖 少 の 下

一 あり 舟 の 菖 林 と あり 舟 菖 菖 時 多

菖 舟 小 川 舟 舟 舟 舟 舟 舟

風 浦 の 湯 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

一甘田とあり六浦池 妻里
海麻 漆河 初時 西 石原 真
時多 吾布川の流 月日 礼 帝
一昆陽とあり六池 ともありあり
約 若此公を少き 心を此方 一京
登り高 地あり 吾 松原 高
那波とあり 西 小藤原 若原 祭
一三差とあり六山 花 神 妻 地
月 祭 時 西 天の下 揚 花 行 祭
是 自 此 京の 羽 穿 衣 衣 二 段 又 松
林 祭 白 衣 禁 山の 丹 唐
庶 あり あり あり あり あり あり あり
軍人 且 礼 正 丁 子 捨 京

朱の玉垣 氏人 三河
一長居浦とあり六 尚 吹 妻 室
一 時 月 沈 津 津 波 甘 菊 山
一 鳥 尾 と あり 六 津 浦 岩 の 西 見
甘 菊 山 あり 人 波 け け け あり
吾 打 身 あり む 松 風
一 籠 鶴 と あり 六 卯 苑 葉 波
あり の あり あり 林 身 ち 此 波 あり

萬治二年正月吉辰 開板

法目

下三

珠
子
香
大
人
誰